



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
 コード番号 7080 URL <https://www.sports-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠崎 克志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 亀田 高一郎 (TEL) 03-5225-1481
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,794	39.5	583	14.1	583	14.0	379	14.0
2025年12月期第1四半期	1,286	16.7	511	26.9	511	27.2	332	28.8

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 379百万円(14.0%) 2025年12月期第1四半期 332百万円(28.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	51.75	51.14
2025年12月期第1四半期	45.66	44.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,067	2,656	65.3
2025年12月期	3,885	2,430	62.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,656百万円 2025年12月期 2,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	21.00	21.00
2026年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2026年12月期(予想)	ー	0.00	ー	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,470	35.2	1,300	20.5	1,300	20.1	845	7.8	115.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	7,487,040株	2025年12月期	7,482,240株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	149,996株	2025年12月期	149,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	7,335,870株	2025年12月期1Q	7,291,796株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(収益認識関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えました。一方で、中東情勢並びに金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する状況は依然として続いております。

人材サービス業界においては、2026年3月の有効求人倍率は1.18倍と依然として高い水準が続いております。また、スポーツ関連用品の販売を手掛ける物販事業においては、物価上昇による選別消費が進む中、個人の健康増進やQOL(生活の質)向上を目的としたスポーツ実施率は底堅く推移しております。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員のもの心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財(※1)がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

(※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人)

なお、2025年10月1日より株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「スポーツ人財採用支援事業」に「スポーツ用品企画・販売事業」を加えた2セグメントに変更しております。当該変更に伴い、「スポーツ用品企画・販売事業」については、前年同期のセグメント情報が存在しないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(スポーツ人財採用支援事業)

・新卒者向けイベント

新卒者向けイベントの当第1四半期連結累計期間における売上高は798,823千円(前年同期比1.1%増)となり、前年同期実績を上回り過去最高の売上高となりました。イベント開催数は、来場型・中小規模イベントの開催数が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。販売枠数は、就職活動の早期化に伴い前年同期実績を下回ったものの、計画に対しては順調に推移しております。また、企業のイベント出展ニーズは依然として強く、高単価の販売枠数が増加しました。2028年卒向けイベントの受注進捗は、前年同期比85.6%増と、2027年卒向けイベントの実績を上回って推移しております。

・新卒者向け人財紹介

新卒者向け人財紹介の当第1四半期連結累計期間における売上高は291,697千円(前年同期比39.0%増)となり、前年同期実績を上回り過去最高となりました。2027年卒のスポンナビ累計登録者数は卒業前年度3月末時点において前年同期実績を上回りました。2027年卒ユニーク紹介学生数(企業に紹介した重複しない学生数)は前年同期比で増加、ユニーク紹介企業数(学生に紹介した重複しない企業数)についても、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前年同期実績を上回りました。また、2027年卒のスポンチャレ累計登録者数は前年同期実績を上回って推移しており、新卒者向け人財紹介における売上高の増加に寄与しました。

・既卒者向け人財紹介事業

既卒者向け人財紹介の当第1四半期連結累計期間における売上高は287,787千円(前年同期比18.6%増)となり、前年同期実績を上回り過去最高の売上高となりました。ターゲティング広告の強化により有効な登録者を確保しつつ、新規登録者数は前年同期実績を上回りました。ユニーク紹介人財数(企業に紹介した重複しない人財数)及びユニーク紹介企業数はともに前年同期実績を上回りました。スポーツ関連企業に特化した就職・転職情報サイトであるスポジョバか

らの人財紹介案件への成約は、前年同期実績を上回り、既卒者向け人財紹介の売上高に寄与しました。

(スポーツ用品企画・販売事業)

当第1四半期連結累計期間における売上高は355,923千円となり、堅調な売上を維持しグループ全体の業績の押し上げに貢献しました。統合プロセス (PMI) についても計画通り順調に進展しており、既存事業とクロスセルやアップセルなど、グループシナジーの最大化に向けた体制構築が着実に進んでおります。

売上原価に関しては、新卒者向けイベントにおけるイベント開催数及び開催費用の増加、スポンサーサービスの物品費用、スポーツ用品企画・販売事業の商品原価の計上により前年同期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、成長のための投資により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果がこれらを上回り、利益は前年同期実績を上回りました。人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員 (25卒) ・中途採用社員の入社、株式会社リンドスポーツの連結化により前年同期比で増加しました。地代家賃は、既存オフィスの増床等により前年同期比で増加しました。広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のための投資により前年同期比で増加しました。その他販管費については、人員増に伴う諸費用の増加に伴い前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,794,930千円 (前年同期比39.5%増)、営業利益は583,364千円 (前年同期比14.1%増)、経常利益は583,289千円 (前年同期比14.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は379,635千円 (前年同期比14.0%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,067,592千円となり、前連結会計年度末に比べ181,649千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加に伴い流動資産が179,979千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,411,222千円となり、前連結会計年度末に比べ44,052千円減少しました。これは主に、返金負債及び未払法人税等の減少に伴い流動負債が24,756千円減少、長期借入金の減少に伴い固定負債が19,295千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,656,370千円となり、前連結会計年度末に比べ225,701千円増加しました。これは主に、利益剰余金が225,658千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期業績予想につきましては、2026年2月13日に公表した予想数値から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期実績を上回り過去最高となりましたが、先行きについては、中東情勢並びに金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する状況が続くことを鑑み、2026年12月期の通期業績予想を据え置くものとしております。

上記に記載した業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,778,220	2,014,750
売掛金	681,021	609,865
棚卸資産	552,167	526,554
その他	101,135	140,817
貸倒引当金	△2,506	△1,969
流動資産合計	3,110,038	3,290,018
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	266,222	265,912
工具、器具及び備品	135,306	139,841
減価償却累計額	△171,822	△180,836
有形固定資産合計	229,706	224,918
無形固定資産		
のれん	212,567	207,117
無形固定資産合計	212,567	207,117
投資その他の資産		
敷金	203,291	209,715
繰延税金資産	118,865	124,846
その他	11,472	10,977
投資その他の資産合計	333,629	345,539
固定資産合計	775,904	777,574
資産合計	3,885,943	4,067,592

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,383	22,358
1年内返済予定の長期借入金	115,082	93,414
未払金	90,686	143,764
未払費用	174,272	145,430
返金負債	90,677	53,927
未払法人税等	242,281	209,326
未払消費税等	105,159	121,051
賞与引当金	69,653	140,736
その他	114,866	87,298
流動負債合計	1,042,065	1,017,308
固定負債		
長期借入金	253,806	234,628
資産除去債務	117,634	117,918
その他	41,769	41,367
固定負債合計	413,209	393,913
負債合計	1,455,274	1,411,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,742	93,763
資本剰余金	83,442	83,463
利益剰余金	2,353,854	2,579,512
自己株式	△100,370	△100,370
株主資本合計	2,430,668	2,656,370
純資産合計	2,430,668	2,656,370
負債純資産合計	3,885,943	4,067,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,286,642	1,794,930
売上原価	79,059	307,315
売上総利益	1,207,583	1,487,615
販売費及び一般管理費	696,423	904,251
営業利益	511,159	583,364
営業外収益		
受取利息	813	2,017
雑収入	-	599
営業外収益合計	813	2,617
営業外費用		
支払利息	387	1,164
雑損失	-	1,527
営業外費用合計	387	2,692
経常利益	511,585	583,289
税金等調整前四半期純利益	511,585	583,289
法人税、住民税及び事業税	197,913	209,635
法人税等調整額	△19,253	△5,981
法人税等合計	178,660	203,654
四半期純利益	332,925	379,635
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,925	379,635

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	332,925	379,635
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	332,925	379,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,925	379,635
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社はサービスの性質により分類されたセグメントから構成されており、「スポーツ人財採用支援事業」及び「スポーツ用品企画・販売事業」の2つを報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「スポーツ人財採用支援事業」は、3つのサービスで構成されております。新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業のサービスを提供しております。

「スポーツ用品企画・販売事業」は、主にスポーツ用品の企画・販売を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、株式会社リンドスポーツが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「スポーツ人財採用支援事業」に加え、「スポーツ用品企画・販売事業」を追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失に関する情報及び収益の分解情報」の前第1四半期連結累計期間に記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失に関する情報及び収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上
	スポーツ人財 採用支援事業	スポーツ用品 企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	790,365	-	790,365	-	790,365
新卒者向け人財紹介売上高	209,820	-	209,820	-	209,820
既卒者向け人財紹介売上高	242,750	-	242,750	-	242,750
物販売売上高	-	-	-	-	-
その他売上高	43,705	-	43,705	-	43,705
顧客との契約から生じる収益	1,286,642	-	1,286,642	-	1,286,642
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,286,642	-	1,286,642	-	1,286,642
セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	-
計	1,286,642	-	1,286,642	-	1,286,642
セグメント利益	511,159	-	511,159	-	511,159

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上
	スポーツ人財 採用支援事業	スポーツ用品 企画・販売事業	計		
売上高					
新卒者向けイベント売上高	798,823	-	798,823	-	798,823
新卒者向け人財紹介売上高	291,697	-	291,697	-	291,697
既卒者向け人財紹介売上高	287,787	-	287,787	-	287,787
物販売売上高	-	355,923	355,923	-	355,923
その他売上高	60,698	-	60,698	-	60,698
顧客との契約から生じる収益	1,439,007	355,923	1,794,930	-	1,794,930
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,439,007	355,923	1,794,930	-	1,794,930
セグメント間の内部売上高	-	2,089	2,089	△2,089	-
計	1,439,007	358,012	1,797,020	△2,089	1,794,930
セグメント利益	553,631	29,732	583,364	-	583,364

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント間取引消去2,089千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	8,356千円	9,759千円
のれんの償却額	-〃	5,450〃